

会議録

会議名	日時	場所	記録者名
じょうほうネット（第2回）	令和3年10月13日	公民館 研修室2	*****

出席者 13名

1 早稲田学区 第4次まちづくりプラン

「情報発信の充実を図ろう」(P21~22) への記載内容発表（各自報告）

- ・情報ツール、より多くの人まちづくりに関心を持って、できるだけ多くの人に関われる情報発信の仕組み作りができると良い。
- ・色々な団体が参加しているので、それぞれの情報集めが大事。現在の情報発信ツールは社協だより、HP、メルポコなどがある。最近社協の公式LINEもできたと聞いたので、情報も知りつつ、どんな情報があるかを充実を図る前に情報集めから始めていけたらと思う。
- ・まちづくり Reborn を電子化できたらもっとたくさんの人に見てもらえるのでは。
- ・どうやったら社協だよりや民生委員だよりなどに興味を持ってもらえるのか。見ないで翌日には捨てる人もいる。
- ・社協HP、LINEの公式アカウントを作成。
- ・今年になって始まった移動販売車（とくし丸）の循環経路や時間が分かれば情報提供して欲しい。
- ・スマホは情報を交換するための最低限のツールとは思っているがスマホはよく分からない。
- ・防犯での意見として、不審者情報などは警察から情報がくるが、メルポコを使う場合、誰をターゲットにするか？メルポコに加入してる人にしか配信できない。
- ・情報発信は読みやすい紙媒体が良いが、若い方にはスマホなどから見る方が身近で使いやすいのかなとも思う。

※社協公式LINEに関する意見は下記参照

2 早稲田学区社協が使用する情報ツールの紹介（情報提供）

- ・広報誌「社協だより」
- ・早稲田学区社協ホームページ
- ・メルポコ

3 早稲田学区社協公式LINEの活用方法（意見交換）

今年10月に作成された「早稲田社協公式LINE」について活用方法の意見交換を行った。

- ・LINEを使ってどのような情報を発信したら良いか、様々な意見が必要。
- ・町内会や各団体が発行する会報誌などを載せる事で町内外の人にも知ってもらえる。
- ・LINEは気軽に情報が出しやすい。
- ・LINEのノート機能の活用したら色々な情報が提供できるのでは。
- ・LINEからの情報→口コミで広がる。
- ・LINEも活用しつつアナログのものもあえて作り公民館などにコーナーを作成。